



まきばの風

ほかほか

Community Magazine of JA Douteu Asahi



平成28年度役員道外視察研修 栃木県那須塩原市 眞嶋牧場



もくじ



あさひ四兄弟

長男 たいよう・次男 だいち
長女 みどり・次女 みるく

特集 JA道東あさひ酪農協議会の活動報告	2
平成28年度役員道外視察研修報告	4
女性部より	5
後期A日程体型調査・牛群審査	6
営農のページ（普及センター）	7
営農のページ（根釧農業試験場）	8
別海高校より	9
平成28年度原料草収量・栄養調査結果&サイレージ分析結果報告	10
JAグループ通信	11
ご存知ですか？JAカード	12
万ーに備えよう わが家の防災・理事会報告	13
11月生乳生産・乳代単価情報・市場カレンダー・編集局から	14



特集

JA道東あさひ 酪農協議会の活動報告



未曾有の災害となった東日本大震災から今年の3月で丸6年になります。今回は、昨年10月に行われた酪農協議会による役員視察研修と、11月の講演会の模様を報告致します。

10月23日から25日までの日程で、酪農協議会役員11名・JA事務局5名参加による視察研修が行われました。

視察先の概要と、参加者たちの感想（一部抜粋）を掲載いたします。

福島県農業復興ネットワーク ミネロファーム

東日本大震災により被害を受けた施設をNPO法人福島農業復興ネットワークが改修し借り受け、200頭規模の牧場を立ち上げ、5名の被災酪農家が酪農の復興を支援しています。

主な活動内容は、「①災害による酪農家救済・支援 ②農産物の放射性物質測定事業 ③環境保全事業 ④堆肥リサイクル有機農業連携事業

⑤子供のための酪農体験事業 ⑥新規就農者・学生・社会人のための酪農学習事業 ⑦地域再生復興事業 ⑧農業の経営と農産物の生産販売」があります。その中でも特に⑤と⑥に重点を置き、

学校や企業を対象に、3日から2週間の日程で積極的なインターンシップの受け入れを行っています。

株式会社 フェリスラテ

東日本大震災の被災後に5戸の酪農家によって立ち上げられ、大規模・共同経営方式を基本に、これか

らの酪農先進モデルとして平成27年の10月に経営を開始した牧場です。北海道からの初妊牛導入にも

着手し、飼養頭数は580頭（搾乳500頭規模）、年間生産量は5,000t。



参加者たちの感想

震災により様々な形で変化してきた中を生き抜く難しさ、その変化を受け入れる覚悟が私たちの目の前に迫っていることを痛感するとともに、今のスタイルを維持することの重要さも感じました。

復興を遂げようとするその行動に、多大な感動と真の人間性に気付かされました。私たちは、今の立ち位置から一歩前を見据えて、組合員一人ひとりが酪農業を誇りに思い、自信が持てるように組織がどうあるべきか、地域間の連携や個人の関わりをどう考えるか、震災や原発事故の歴史認識が薄れることのないように意識改革に努め、地域活性化を考える良い機会となりました。

ミネロファームのように、単に観光牧場ではない形態の酪農も必要なのだと考えさせられました。

ミネロファームやフェリスラテが新規就農のための良い起爆剤となれば：JAからも何か提案ができればと思います。

現在、担い手確保のためにJAや行政が動いていますが、種まきから成長までの過程をしっかりとサポートし、今後の酪農発展のために地域やJA職員、酪農家の皆さんが一致団結して進めることが必要だと感じました。

JA道東あさひ酪農協議会講演会 「いつまでも復興牧場とは言わせない この国の酪農を変えるヒーローになる」



田中 一正氏

フェリス：スペイン語で「幸福」。
ラテ：イタリア語で「牛乳」の意味。
「この牧場から皆を幸福にする牛乳を
届けたい」との思いを込めた造語。

11月24日、本所会議室でJA道東あさひ酪農協議会による講演会が行われました。
役員視察研修で訪問した「株式会社フェリスラテ」より田中一正社長を招き、自身の半生とフェリスラテに懸けた思いについて語って頂きました。

酪農との出会いと新規就農

酪農学園大学に入学後、人工授精師の資格を取得し、卒業後は栃木県の農家で従業員として働いていた田中氏。福島県の飯館村に新規就農し、家族酪農で最大で約60頭を飼育しながら経営も軌道に乗っていた矢先、突然の震災に見舞われました。就農後10年目のことでした。

「あの日」から飯館村を出るまで

飯館村は内陸部に位置し、震災による津波の被害はなかったものの、直後から停電に見舞われ、近隣の農家との情報共有もままならないなか集乳車も来ず、発電機で搾乳してはそのまま廃棄する日々が続いたそうです。「自分は毎日何をしているのか。世界で一番不幸なのではないか」と思いながらの作業は続き、電力が回復したのは地震から3日後。テレビで見た津波の光景に唾然とし、自分が不幸だと思っていたことを反省するほどの衝撃を受けたそうです。その後、飯館村は避難区域に指定され、震災から2か月後に避難

を開始するまで、牛との辛い別れ、電力会社との協議などを経験し、「負けたたまるか」と思いながら村を後にしました。

「フェリスラテ」から次世代に

田中氏は、避難後も酪農に対する熱い思いから、福島県のミネロファームで酪農実習生への指導などで活躍後、被災農家同士でフェリスラテを立ち上げ、福島県初のメガファームとして従業員22名が働いています。将来は「地の雇用の受け皿として、新規就農に繋がれば良い。（復興牧場でなく）『フェリスラテ』と呼ばれるようになりたい。」と語ったうえで、「今まで掛けてもらった恩を次世代に繋ぎたい」と講演を締めくくりました。
様々な困難を乗り越えてきた心境がストレートな言葉で語られる中で、「精神的に豊かであれば良い」という言葉が印象的で、参加者も真剣に聞き入りながら興味深い講演会となりました。



平成28年度役員道外視察研修報告

報告：管理部長 細田 敬治

11月15日から18日までの4日間の日程で、役員17名と同行職員4名による視察研修を実施致しました。各視察地の内容を報告致します。

11月15日 農林水産省との意見交換会

(東京都千代田区)

事前にJAから要望した項目に対して、農水省の担当職員8名が項目毎に回答して頂く形式での意見交換会が行われました。主な内容は次の通りです。

【指定生乳生産者団体制度の機能維持に対して】

小規模・中規模の経営体や集乳困難な僻地の経営体が安心して酪農経営できるように、生乳の一元集荷・多元販売の機能維持と広域的な需給調整機能維持、地理的条件の緩和機能維持等の役割を担う指定団体制度の機能維持を強く要望するとともに、補給金支払対象者の選定にあたり、集送乳や需給調整機能を果たす事などを考慮して決定願いたい旨を要望致しました。



【政府の規制改革推進会議農業WGの提言に関する】

後日与党との調整によって取り下げられました。クミカン制度の廃止などの農協改革に関する提言に対し、安易な決定は行わないで頂きたい旨を強く要望致しました。

【畜産クラスター事業関連について】

地域農業を支えるためには、現状維持を希望する農家がロボット1台・60頭規模のFS牛舎で労働負担軽減を図り営農を継続する必要があるが、平均的経産牛頭数の関係で事業に参加できない状況にあるため改善を要望し、直ちに対応はできないが、必要性は理解できるので意見を承るとの回答を得ました。

その他、コントラクターに対する支援、異常気象被害対策、新規就農者対策、乳牛の生涯生産性向上対策等について活発に議論が交わされました。

11月16日 農畜産業振興機構

(ALIC) 訪問・意見

交換会(東京都港区)

【バター等の輸入・売渡と最近の需給動向】

加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づき輸入・売渡を実施しています。

ALICは農林水産大臣が定めて通知する数量(生乳換算数量13万7千t)のバター等を輸入、不足が生じる恐れがある場合にはALICが農林水産大臣の承認を受けて追加輸入します。

また、輸入したバターについて、不足が生じる場合又は国内の生産条件・需要事情等を考慮し、価格・消費の安定に資する場合に売り渡します。

【ニュージーランドのシェアミルクー経営と最近の動向】

シェアミルクー経営は、オーナーと収入・費用・労働を分配(シェア)して行う共同経営システムの事で、若い酪農家が知識・経験・資金を蓄積しオーナー経営にステップアップする前段階の経営形態です。

NZのプラ
イマリーIT
O(生産者研
修機関)によ
るOJT的な
研修やオンラ
イン学習、資
格認定制度等
の話題提供が
行われました。



最後に小林統括理事より、来年度ALICの若手従業員1、2名を当JA管内の農場への研修受け入れに対する依頼があり、これを快諾し、後日連絡を取ることに致しました。

11月17日 眞嶋牧場で糞尿処理

施設を視察（栃木県 那須塩原市）

当JAで建設予定の新哺育・育成預託センターに、設置を検討中の家畜糞尿施設と同様のシステムを導入している眞嶋牧場を視察致しました。

昭和38年に開拓政策により入植した眞嶋氏が、その後UFOキャッチャー的なクレーンを利用して自動給餌システムを導入し、続いて堆肥処理にも応用を検討、実施した経過や農場の概要説明を受けた後、農場内を視察しました。

糞尿処理施設は、経産牛の糞尿（水分85%）をオガクズと戻し堆肥（水分55%）の水分調整剤により70%程度に調整した地下式ピットからクレーンで引き上げて第1発酵



経営者の眞嶋雄二氏（左）



幅7mの堆肥クレーン

槽へ移動し、以後7日毎に5回（35日間）隣の発酵槽へ移されます。移動の際にクレーンによる自動切り返しと底面から吸引プロアで発酵ガスを吸引する事によって、最後の第5発酵槽の糞尿は臭いも無くほとんど土のような印象で、一部は戻し堆肥（敷料）として利用されていきました。

今後、預託センターの施設設置検討に際し、大変参考になる農場視察でした。

女性部上春別支部 フレミズ部会視察研修旅行

笑い合いながら楽しく調理

12月13日、女性部上春別支部フレミズ部会では計根別にある中標津町畜産食品加工研修センターで乳製品を使用した料理講習会を開催し、部会員5名が参加しました。



加工体験したメニューはチーズソーセージとアイスクリームで、ソーセージ作りでは肉やチーズをカットするところから自分達で行い、腸詰め

は慣れない作業で、肉を詰め過ぎて途中で破裂したり、逆に肉が少なくてゆるくなってしまうったり、笑い合いながら楽しく調理しました。

アイスクリームは牛乳や脱脂粉乳などが入ったミックスを、冷えた容器に入れハンドルを回し続けると10分程で出来上がりました。上手く作るポイントを講師に教わりながら、昼食時に出来立てのアイスクリームを試食し、乳製品の美味しさと調理方法について楽しく学ぶことができました。





後期A日程体型調査・牛群審査

根室支所 中川佳代牧場 EX4頭獲得!!

11月9日から12月5日の日程で、審査員に北海道ホルスタイン農業協同組合 稲山智明審査員、渡部幸一審査員を迎え、平成28年度後期（A日程）体型調査及び牛群審査が行われました。

牛群審査については、根室支所・中川佳代氏所有センターランド マットロイ チャンプ サンチエス号がEX92点、センターランド バーリー サンチエス号、センターランド トリビュート ダーハム パワー号がEX91点、センターランド マットロイ ダンデイ号、別海支所・山賀秀一氏所有ダイアリー パーク ショーウインド号がEX90点を獲得しました。また、初産において、根室支所・(有)武隈牧場所有エクセルランド ウォーカー スパークリング ジュニア号、上春別支所・佐久間 淳氏所有メリーランド BKM スター エラ号が決定得点84点を獲得しました。おめでとうございます。

なお、後代検定体型調査については、調査結果はこれからの後継牛の選抜・淘汰に欠くことのできない種雄牛評価値の貴重なデータとして活用される事となりますので、今後とも乳検への加入、後代検定精液の利用ならびに、体型調査へのご協力をお願いいたします。

今回、調査協力をいただきました生産者の皆様に感謝申し上げます。

決定得点87点以上牛一覧

得点	名 号	父略号	審査年齢	所有者	支所
92	センターランド マットロイ チャンプ サンチエス	7H8190	06-07	中川 佳代氏	根 室
91	センターランド バーリー サンチエス	7H8190	05-09	中川 佳代氏	根 室
91	センターランド トリビュート ダーハム パワー	80H1056	06-11	中川 佳代氏	根 室
90	センターランド マットロイ ダンデイ	94H10276	04-03	中川 佳代氏	根 室
90	ダイアリー パーク ショーウインド	200H3501	04-10	山賀 秀一氏	別 海
89	バンブーフラワー ミラーアウト フィーバー	200H5592	05-01	竹花 新吉氏	西春別
89	テインカーベル AD ミカエル	7H7004	05-02	備オードリーファーム	別 海
89	インカ ゴールドウイン アローン	200H3205	06-09	備オードリーファーム	別 海
88	センターランド チャンプ ウッド	7H10506	03-06	中川 佳代氏	根 室
88	フォレストフェアリー DB ローソリテイ ET	200H5588	04-03	羽石 勝幸氏	別 海
88	ラツス ウインドブルツク ベル	200H3501	04-04	備オードリーファーム	別 海
88	センターランド アカロイ ツー ET	29H9023	05-01	中川 佳代氏	根 室
88	フレーザーランド ダンディー アフターシヨツク	94H14105	05-02	平澤 優作氏	別 海
88	センターランド パロア テイストライ	94H13666	05-03	中川 佳代氏	根 室
88	馬拉ソン サザン ストリー	7H8190	05-06	佐藤 正一氏	上春別
88	グリーンリバー プレシヤス アイオーン	JP3H53584	05-08	今井 明郎氏	西春別
88	マウントエース シャルマン ダンディー	94H10276	06-02	安部 政博氏	別 海
88	バプスト マセラテイ マーク	JP5H53241	06-04	備オードリーファーム	別 海
87	エスデール デンブシー パラダイス	7H9264	03-01	(有)佐々木牧場	根 室
87	マックスステイイ フィーバー ガール	200H5592	03-09	佐久間 勝氏	根 室
87	ファインクレスト スパークリングアーチャー	JP3H53999	04-01	丹羽 博文氏	別 海
87	ロツクマン ジエレミー ギヤレット	29H13083	04-01	宇居 幸子氏	西春別
87	マウントエース マーガー ブラクストン フジ	7H9165	04-02	安部 政博氏	別 海
87	イーストスター サジエマ ゴールドウイン ET	200H3205	04-02	齊藤 哲夫氏	別 海
87	マウントエース アームステッド ウイナー ジュリー	JP3H53940	04-03	安部 政博氏	別 海
87	エスデール ロキシアー アルタザツブ	11H9791	04-05	(有)佐々木牧場	根 室
87	センターランド マットロイ チャンプ ローソリテイ	200H5588	04-05	中川 佳代氏	根 室
87	エクセルランド ラツキー ローソリテイ	200H5588	04-06	(有)武隈牧場	根 室
87	RTS ミス エレクトラ セイレーン ET	200H5024	04-06	安部 政博氏	別 海
87	ミドリ スプラツシユ スター	JP3H53998	04-06	備オードリーファーム	別 海
87	イーストブルー MS ハーネス テイナ	200H5588	04-08	笠原 穰二氏	別 海
87	エクセルランド ウォーカー トム フィーバー	200H5592	04-11	(有)武隈牧場	根 室
87	フレーザーランド サラ ビューティー アイオーン	JP3H53584	05-00	平澤 優作氏	別 海
87	フレーザーランド ダンディー グラス フィーバー	200H5592	05-01	平澤 優作氏	別 海
87	馬拉ソン トイ ラプター	1H7235	05-01	佐藤 正一氏	上春別
87	トライデイ マツク シド	200H2137	05-02	佐藤 正一氏	上春別
87	メリーランド バツクス スター エラ	11H8195	05-02	佐久間 淳氏	上春別
87	ピツクゲート ウイニング マツクファー	55164	05-02	大門 貴幸氏	西春別
87	ピツクゲート ゴールドウイン ラファイ	200H3205	05-05	大門 貴幸氏	西春別
87	ピツクゲート ミリオン ゴンベール	7H8165	05-06	大門 貴幸氏	西春別
87	グレイスフル TB アヴリル ジャンクシヨン ルル	29H11942	06-04	今井 明郎氏	西春別
87	イーストスター アレキサンダー クリント	7H8221	06-08	齊藤 哲夫氏	別 海
87	メリーランド ルシナ ブレイク ファースト ET	11H8195	06-08	佐久間 淳氏	上春別

初産決定得点84点以上牛一覧

得点	名 号	父略号	審査年齢	所有者	支所
84	エクセルランド ウォーカー スパークリング ジュニア	JP3H53999	02-11	(有)武隈牧場	根 室
84	メリーランド BKM スター エラ	7H11477	02-07	佐久間 淳氏	上春別

探してみよう、乾乳期にできること！

11月に北根室地区農業改良協議会が主催した酪農セミナーの内容から、乾乳管理のポイントをまとめました。ほ場作業が落ち着く冬の間に、乾乳管理について、もう一度見直してみましょう！



営農のページ
【普及センター】

ポイント1 「栄養」

代謝タンパク質（飼料由来のタンパク質+反芻胃内の微生物由来のタンパク質）を充足させる

乾物摂取量を大きく低下させないことが大前提ですが、タンパク質も胎児の成長や、分娩後に備えた筋肉の保持のために重要です。とりすぎないようにエネルギーを抑えつつ、粗飼料の栄養価に応じた単味飼料を給与して代謝タンパク質を充足させましょう。

良質な粗飼料を与える

酪酸が検出されたサイレージの給与は、ケトosisのリスクを高めます。良質なものがない場合は、乾草の併給などの対策を考えましょう。

ポイント2 「施設」

雪の吹き込み対策

軒下から雪が吹き込む環境では、牛舎内を快適には保てません。牛舎の新築時に限られますが、軒の開口部に図のような吹き込み防止板を取り付ければ、雪の吹き込みを解消できます。

冬のフリーバーンは要注意！

コンクリートの上の敷料は、下からだんだんと凍結していることもあります。マットの敷設（写真）によって底冷えを防げば、母牛の横臥時間が増え、子宮への血流と胎児への栄養供給が増加するので、死産のリスクを低減できます。

暑熱対策

乾乳期間中の暑熱対策は乾物摂取量の増加につながり、分娩後のトラブル減少や乳量アップが期待できます。春先にすぐに対策できるように、換気扇や遮光ネットの取付を検討しておきましょう。

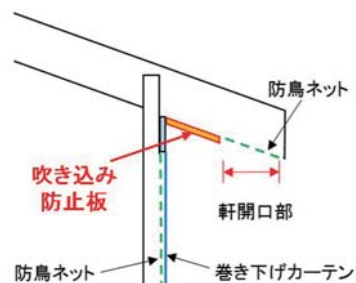


図 雪の吹き込み対策
(H24 根釧農試原図)



写真 底冷え対策でマットを敷設

ポイント3 「管理」

周産期の過密は厳禁！

起立不能や第四胃変位の発生リスクは、休息スペースが狭いと高くなります。

敷料は厚く敷く！

起立不能の発生リスクは、飼養密度が狭くても敷料が厚ければ（15cm以上）リスクが下がる傾向もあります（根釧農試アンケート調査より）。どうしても混雑する時期は、敷料を厚くするなどの管理で、トラブルを回避しましょう！

ぼーっと立っている牛は要注意！

乾乳牛は、寝ているか、起きて食べるか反芻しているか、常に何かの行動をとっているべきです。ぼーっと立っている牛がいる場合は、必ず理由があるはずです。ストレスなく「寝て」「起きて」「食べる」環境か、もう一度チェックしてみましょう！

青色申告決算書を使った所得解析

十勝農業試験場 生産システムグループ 吉田 裕介

営農のページ

【農業試験場】

青色申告決算書を用いて、基準年と比較した際の農業所得の変化と、所得変化の要因を明らかにする手法について解説します。解析に当たっては、青色申告決算書の損益計算書（1頁目）と収入金額の内訳（2頁目）、乳牛飼養頭数データを2年分準備します。

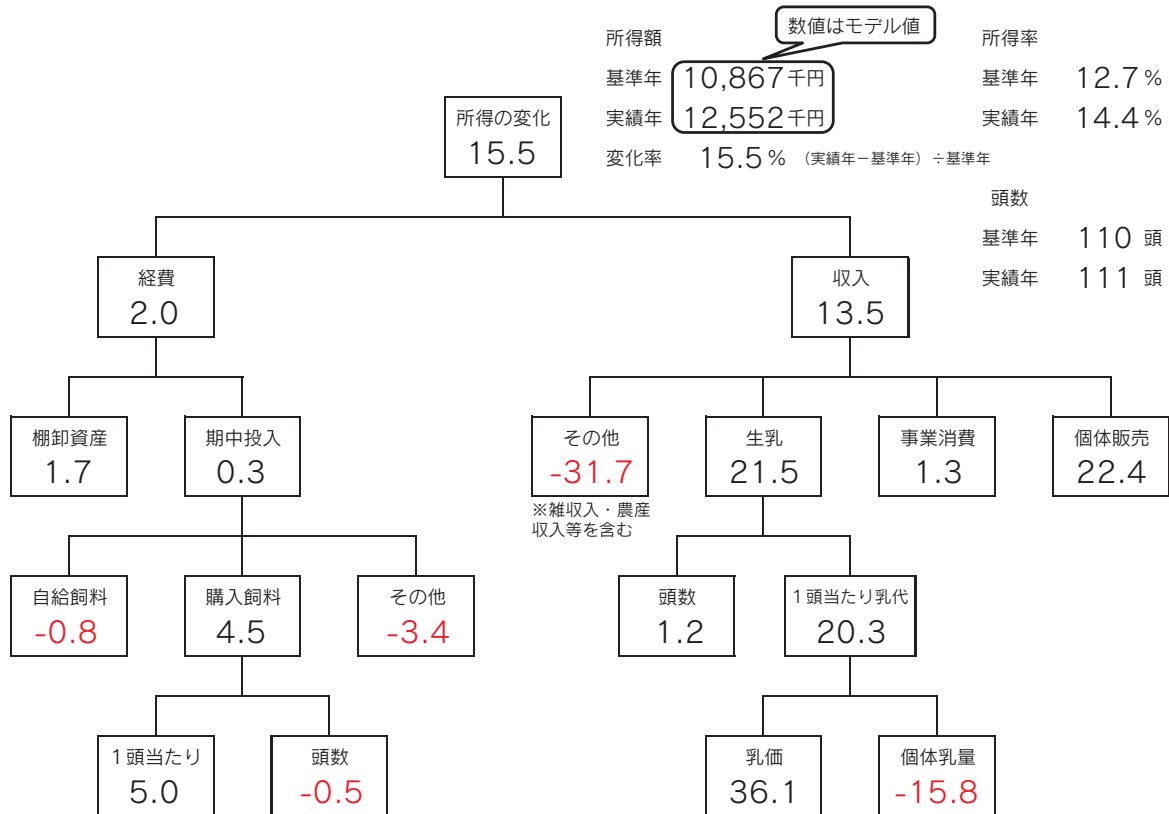


図 所得の推移とその変化の要因

解析結果を図示しました（数値はモデル値）。「所得の変化」欄には、実績年と基準年の所得差が変化率で示されます。また、「所得の変化」欄より下には収入と経費が所得変化に与えた影響が「寄与度」という指標を用いて示されます。寄与度がプラスであれば所得の増加、マイナスであれば所得の減少に影響しており、数値が大きいほど影響が大きいことを意味しています。

次に、解析結果の見方を説明します。解析例では、所得が15.5%増加しました。その要因を見ると、所得の増加には収入の増加（+13.5）と経費の減少（+2.0）の双方が影響したことがわかります。

所得変化の要因をみると、収入の増加は個体販売額の上昇（+22.4）及び生乳販売額の上昇（+21.5）が大きく影響していました。さらに生乳販売額の増加は、1頭当たり乳代の増加（+20.3）によるものでした。1頭当たり乳代は、個体乳量が減少したものの、乳価の上昇分でカバーできたため上昇しました。経費の減少（+2.0）は購入飼料費の低下（+4.5）が大きく影響しており、これは1頭当たり購入飼料費の低下（+5.0）によるものでした。

今回紹介した所得解析は、解析を自動化したエクセルファイルを利用したものであり、誰でも実践可能です。使用に当たっては、地域の普及センターに問い合わせるか、道総研十勝農業試験場生産システムグループ（経営）のホームページ（<https://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/tokachi/keiei/bluereturn/bluereturn.html>）をご覧ください。

別海高校 酪農経営科・専攻科

●【経営科】カナダ酪農を視察！

11月6日(日)～11月14日(月)の9日間、平成28年度海外視察研修に、生徒1名、引率教員1名で参加しました。今年で3年目となるカナダ視察研修です。今年、前半でケベック州の牧場見学2軒と



ペティシエルク牧場の様子
ナイアガラ周辺の牧場1軒を視察し、後半はロイヤル・ウインターフェアを視察しました。

視察した酪農家はいずれも経営方針に独自性があり、正に『牛に対する情熱と家族経営に対する愛情が感じられる酪農家』ばかりでした。

1軒目のペティシエルクホルスタインファームは、施設に工夫が多く見られ、育成舎に関しては、外部から鳥が侵入しても留まるところがないので、糞の被害がほとんどないという話をお聞きしました。また、EX93点の牛を筆頭に、体型審査において優秀な牛が多く、実際に見た生徒も「サイズが日本とは全く違う」と感銘を受けていました。2軒目のジェイコブス牧場も、共進会に力を入れる「ショー命」の牧場で、個体と授精卵の販売も多く行っていました。牛体管理に関してもこだわりがあり、肢蹄の疾病を予防するために、外部委託で年4回の削蹄を行うとのことでした。視察に訪れた日も、実際に牛舎内で実施していました。



ジェイコブス牧場

3軒目の視察先のサミットホルムホルスタインズファームは、飼養頭数が650頭、ミルクングパーラー搾乳形式で、3回搾乳を実施しているという大規模経営の牧場でした。衛生面においては、フリーストール牛舎の牛床には全て砂が敷いてあり、乳頭口からの雑菌の混入防止や、肢蹄の疾病を予防しているということです。生徒も「おがくずを敷いているのは見た事があるが、全てのベッドに砂が敷いてあるのは初めて」と驚いていました。

ロイヤルショーでは様々な家畜のコンテストなどと共に世界に名高いホルスタインショーを見学しました。会場は見学者であふれており、家畜のショーだけではなく、



ロイヤルショーの様子

関連商品のブースや展示もあり、日本の共進会とは全く違うことを思い知らされました。

出品牛はどの牛も素晴らしく、日本と比べ、尻や肋腹の構造に大きな違いがありました。また乳器も幅、高さとも素晴らしく、更にその牛たちを引き立たせる出品技術にも圧倒されました。

研修期間中は好天に恵まれ、酪農視察の他にもナイアガラの滝やケベックシティの見学もできました。今回は学校単独ではなく、酪農家の方や酪農雑誌関係の方とご一緒させていただきましたが、どの方にも大変親切にいただき恵まれた研修となりました。ご支援いただきました別海町、別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)ならびに関係者のみなさんに心からお礼申し上げます。

●【専攻科】修了研究活動発表会実施

11月28日(月)修了研究活動発表会が実施されました。2年目学生が1年間自家の課題解決のため、研究に取り組んだ成果を発表するものです。



学生発表の様子

今年度は、「子牛の暑熱対策の検討」、「性選別精液の利用による経済効果について」、「TMR品質向上～食い込める餌を作るために～」と題して3つの発表がありました。それぞれ、子牛の夏場の暑熱対策、性選別精液を導入した時のコストの考察、良質なTMR製造による飼養管理の結果を発表し、関係機関から6名の講師の先生より、様々な視点から助言やご意見を頂きました。専攻科を修了してからもご助言いただいたことを参考に、今後の経営改善に継続して取り組んでほしいと思います。

●【専攻科】根室管内青年農業者会議へ参加

12月7日(水)に根釧農業試験場にて根室管内4Hクラブ連絡協議会・北海道根室振興局主催の第42回根室管内青年農業者会議が開催され、学生8名が参加しました。この会議は、管内農業の担い手として実践活動を行っている青年農業者が、実践活動を通じて身につけた知識や技術の交換を行い、相互の交流を深める会議です。



アグリメッサー発表の様子

アグリメッサー部門では、1年目学生の佐伯

遥さんが別海高校農業特別専攻科として発表しました。東京から別海に來道し、酪農についての熱い思いを述べていました。結果は堂々の優秀賞でした。本人は結果に満足した様子でした。参加学生は、次年度の青年農業者会議の入賞に向け、取り組んでいきたいと話していました。

H28年度原料草収量・栄養調査結果 & H28年度産サイレージ分析結果報告

【H28年度原料草収量・栄養調査】

平成25年度より、牧草収量・栄養価の傾向を把握することを目的に、管内草地(植生改善実施後含む)を対象とした収量調査・栄養価分析(1番草前・2番草前)を実施しております(5力年追跡調査)。今回、今年度の調査結果についてまとめましたので報告致します。



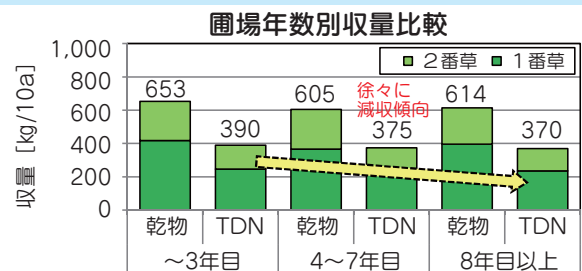
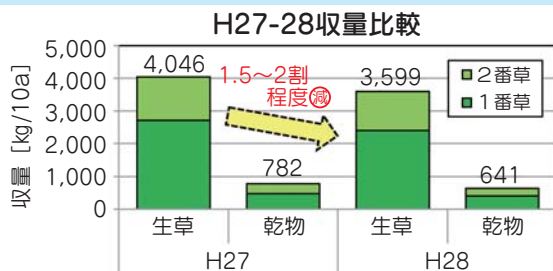
○全体・圃場年数別平均

番草	年度	調査期間	圃場年数	検体数	生草収量 (kg/10a)	乾物収量 (kg/10a)	TDN (乾物%)	乾物TDN収量 (kg/10a)	CP (乾物%)	NDF (乾物%)	NFC (乾物%)
1番草	H27	6/15 6/19	～3年目	47	2,788	486	59.79	290	10.83	66.28	15.78
			4～7年目	11	2,458	454	59.21	268	10.23	66.85	14.92
			8年目以上	4	2,444	438	59.85	261	10.85	66.55	15.89
			全体	62	2,707	477	59.69	284	10.72	66.40	15.63
	H28	6/16 6/23	～3年目	41	2,464	418	59.66	246	11.92	66.22	14.47
			4～7年目	11	2,074	366	60.56	227	10.90	65.04	16.98
			8年目以上	4	2,555	396	59.60	236	10.61	66.78	15.39
			全体	56	2,394	406	59.76	243	11.69	66.12	14.85
2番草	H27	8/24 8/28	～3年目	35	1,378	310	62.29	192	13.85	60.07	19.23
			4～7年目	10	1,295	302	62.82	190	14.18	58.76	19.87
			8年目以上	3	1,023	254	63.14	160	13.68	59.00	20.63
			全体	48	1,339	305	62.45	190	13.91	59.73	19.45
	H28	8/17 9/11	～3年目	37	1,234	235	61.57	144	14.99	61.80	15.47
			4～7年目	10	1,110	239	60.84	148	15.65	62.89	14.29
			8年目以上	4	1,184	218	60.20	134	16.80	61.12	14.05
			全体	51	1,205	235	61.39	144	15.19	61.88	15.24

※TY主体草地のみ抽出(栄養調査未実施圃場含む)

◇収量(1番+2番)については、生草で3,599kg/10a(前年比89%)、乾物で641kg/10a(前年比82%)、乾物収量にTDNを加味した乾物TDN収量は387kg/10a(前年比82%)となっております。今年の2番草に関しては長雨等の影響により刈取りが遅れたため、実際の数値とは異なる場合がありますが、傾向としては例年に比べて1.5～2割程度減収となりました。

◇圃場年数別にみると、TDN収量が3年目以内が390kg/10a、4～7年目が375kg/10a、8年目以上が370kg/10aとなっており、圃場年数が経過するにつれて徐々にではありますが減収傾向がみられました。



【H28年度産 道東あさひ管内サイレージ分析結果】

(H28年12月17日現在/ホクレン・雪印種苗(株)提供分)

区分	年度	1番草 (上段: H27/下段: H28年)					2番草 (上段: H27/下段: H28年)				
		検体	CP	TDN	NDF	NH ₃ -N	検体	CP	TDN	NDF	NH ₃ -N
細断	H27	555	10.30	57.93	69.54	13.29	255	13.78	59.28	60.71	9.93
	H28	236	11.34	59.52	67.12	8.92	40	14.82	60.43	59.43	10.32
ロール	H27	273	9.71	57.75	70.06	5.97	67	13.24	60.39	62.51	3.93
	H28	112	10.67	58.72	68.73	4.42	29	13.79	61.04	61.24	3.95

※水分が60%より高いものを細断、60%以下のものをロールとして区分(明記されているものを除く)

◇H28年度産サイレージは、H27年度産に比べ、1番草・2番草ともにCP・TDNがやや高く、NDFがやや低くなっております。アンモニア態窒素については、2番細断サイレージのみH27年度産に比べやや高くなっております。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

HBCラジオ「秋の恵みに感謝カンゲキ！北海道農業応援スペシャル!!」(11月3日)を通して、農業の魅力を一日中発信し続けました。

寄せられたメッセージは4,566件。内田副会長がグリーンツーリズム等についてお話をされた、カーナビラジオ公開生放送には、延べ400名が来場し、大盛況。

スマートフォンアプリ「JA2MP」では、道内の生産者や直売所を巡る中継キャラバン等の期間限定お宝画像も発信。地域との繋がりが感じられるサポートタ550万人づくりへの貴重な一日となりました。



JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として「農業経営フォーラム」を開催。

「あぐり王国」の森崎博之氏が所属する(株)クリエイティブオフィスキュー 鈴木代表に「道内農業の魅力の再発見と発信」を、学習院女子大学 江口名誉教授に「道内農業に求められるマーケティング発想」を講演頂き、参加者からは「農業経営のヒントを得た」「農業の魅力を探索する姿に感銘を受けた」等好評を頂きました。



ホクレン

全道のホクレンSSで7月、9月に展開した「2016『ラブ&ハート』チャリティキャンペーン」に寄せられた募金と一部売上の、総額300万円を北海道社会福祉協議会へ寄託しました。今年で35回目の当キャンペーンは、社会貢献活動「ホクレンシアーズプロジェクト」の一環。道内約780の児童保育施設に、絵本や文学書の購入費用としてご利用いただきます。



JA共済連北海道

生命共済と傷害共済で、入院・通院共済金をご請求していただく場合、診断書取得・提出をいただいておりますが、所定の条件を満たせば「治療報告書制度」による自己申告と領収書提出のみで共済金をご請求いただけます。

病院で診断書を取得する手間や費用負担も無くなり、共済金ご請求までの時間が短縮できるメリットがございますのでご利用ください。ご利用条件については、ご加入先のJAへお問い合わせください。

JA北海道厚生連

平日に時間がとれない方へ、完全予約制の土曜日健診を開始しました。

【旭川】毎月第2・4土曜「土曜ドック」を実施。(男性対象・各種オプション検査可能)随時予約受付中ですので、お電話でお問い合わせください。

(TEL 0166-33-7171)

【札幌】毎月第2土曜に「臍臓・胆のうドック」を実施中。

(TEL 011-251-5713)

【帯広】オプション検査「脳ドック」を平成29年1月より毎月第2土曜に実施いたします。

(TEL 0155-24-4161)



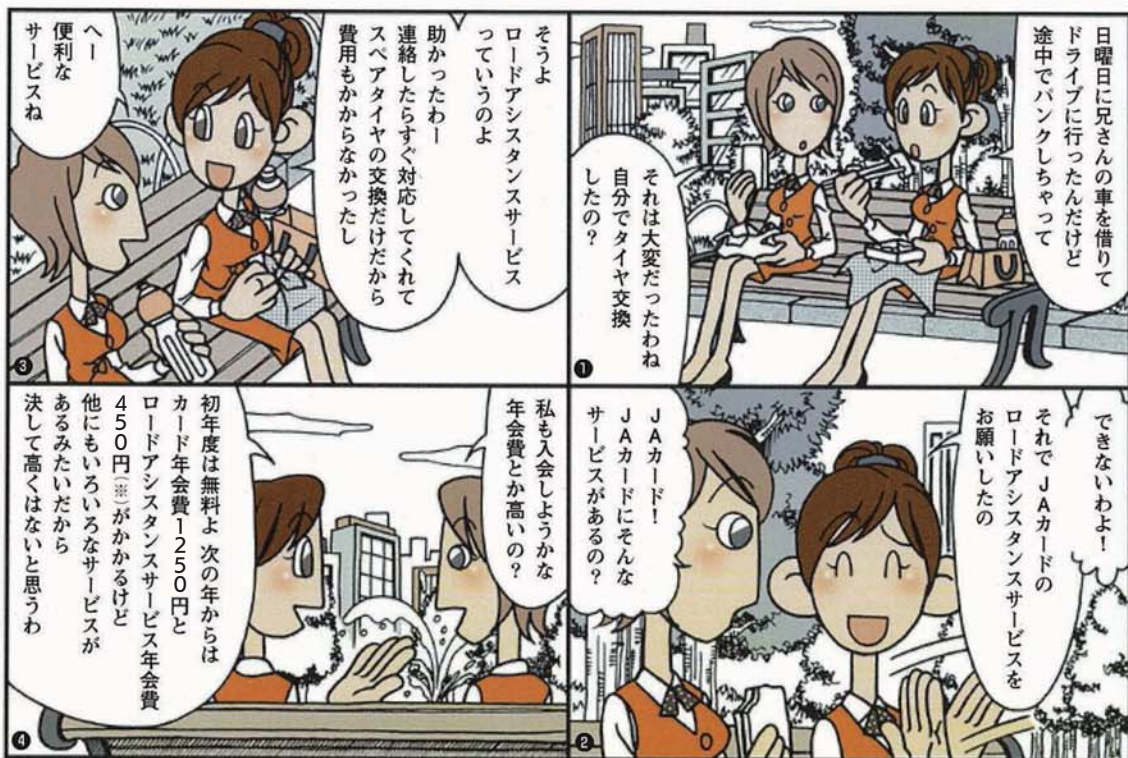


ご存知ですか？ JAカード



ロードアシスタンスサービス

～思いがけない車やバイクのトラブルに安心サービス～



※カード年会費は、年間12万円以上のカードショッピングで次年度以降も無料となります(ロードアシスタンスサービス年会費のみ別途かかります)。なお、セリフの中の年会費はすべて税別です。



※社用車等、業務上の利用の場合は対象外となります。



万一に備えよう わが家の防災

災害危機管理アドバイザー 和田隆昌

地域でできる災害時の備え

広域の被害が発生した場合、公的な支援はすぐには地域に届きません。特に生死を分かつような場合では、よくいわれるように「自助」「共助」の有無が大きな差になって表れます。阪神・淡路大震災では、倒壊家屋から救助された住民の7割が地域住民によるものでした。災害が発生しても警察や自衛隊はすぐに駆け付けてはくれません。自分が窮地に陥ったときに、頼りになるのは自分自身とご近所さんなのです。しかしながら、地域住民同士で助け合う「共助」においては、近年



「地域コミュニティ」の欠如が地域の「防災力」を著しく低下させています。特に都市部ではその傾向が強くなり、隣に誰が住んでいるのかもわからない、大型の賃貸マンションなどでは近隣のつながりが希薄で、いざというときに住民同士で助け合うことは難しいでしょう。

毎月、全国各地の防災会や自治会でセミナーを行っています。誰もが「喉元過ぎれば……」の意識が強くなり、かつて被災した地域でも5、10年たつと危機意識は薄れていきまします。まして被害のなかった地域では防災意識を持続するのは困難です。ならば最初から「災害対策」などとかしこまらずに「地域コミュニティ」を持続させるには、飲み会や遊びのイベントの方がむしろ効果的です。「安全」「安心」な地域というのは住民同士が気楽に集まり、あいさつや声掛けをしつづけるような地域なのです。そして地域で行われる防災訓練や避難訓練には面倒がらずに参加しましょう。そこで顔を合わせ、いざというときに住民同士助けあえる体制をつくること。それが地域の被災リスクを下げる一番の対策になるのですから。

第11回理事会報告 平成28年12月27日開催

議案第1号	第2四半期末監事監査に係る処理顛末について	報告事項5	定款第57条第6項に基づく貸出金に係る理事会承認案件の処理状況について
議案第2号	規程類の一部改正について	報告事項6	融資審査会の結果について
議案第3号	平成29年度役員報酬審議会への諮問について	報告事項7	特定組員実績(11月末)について
議案第4号	固定資産(建物・構築物)の除却について	報告事項8	営農サポートセンター構想に係る進捗状況について
議案第5号	資産査定業務に係る評価基準額について	報告事項9	平成28年度草地植生改善事業機械利用状況について
議案第6号	理事者に対する平成29営農年度組員勘定取引供給限度額、貸越極度額及び家計費現金供給額の設定について	報告事項10	年末年始休業中の組員緊急連絡体制について
議案第7号	特定組員に対する平成29営農年度組員勘定取引供給限度額、貸越極度額及び家計費現金供給額の設定について	報告事項11	販売事業実績(11月末)について
議案第8号	特定組員に対する一般長期資金の貸付について	報告事項12	JA道東あさひ平成28年度サルモネラ・ヨーネ病発症農家地図について
議案第9号	一般組員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項13	ホクレン異常気象に伴う特別対策(奨励)について
報告事項1	第3四半期末監事監査の実施について	報告事項14	購買事業実績(11月末)について
報告事項2	平成28年度経営定期点検実施報告について	報告事項15	行事予定について
報告事項3	貸借対照表及び損益計算書(11月末)について	報告事項16	平成28年度補正畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)の取扱いについて
報告事項4	組合員の動向(11月末)について	報告事項17	肥料情勢及び肥料コスト低減に向けた取組みについて

11月 生乳生産・乳代単価情報

区 分	11 月	累 計	脂肪率	無脂固形分率	補給金単価	F A T単価	S N F単価	乳質単価	乳代合計
全 道	296,577t	2,553,541t	4.10%	8.87%	5.45円	37.43円	51.41円	3.75円	98.03円
前年(比)	98.0%	100.8%	4.05%	8.83%	5.86円	36.67円	50.65円	3.77円	96.95円
根室管内	61,728t	529,385t	4.14%	8.83%	5.45円	37.86円	51.17円	3.78円	98.25円
前年(比)	98.7%	100.8%	4.11%	8.77%	5.86円	37.17円	50.35円	3.82円	97.20円
JA道東あさひ	27,374t	236,343t	4.15%	8.82%	5.45円	37.90円	51.12円	3.78円	98.24円
前年(比)	96.1%	98.5%	4.11%	8.77%	5.86円	37.18円	50.30円	3.82円	97.18円
西春別支所	7,056t	59,974t	4.08%	8.80%	5.45円	37.30円	51.01円	3.85円	97.61円
前年(比)	97.0%	99.2%	4.08%	8.76%	5.86円	36.91円	50.27円	3.83円	96.88円
上春別支所	4,711t	40,093t	4.18%	8.85%	5.45円	38.20円	51.32円	3.82円	98.78円
前年(比)	90.0%	93.7%	4.13%	8.80%	5.86円	37.43円	50.49円	3.89円	97.67円
別海支所	11,836t	103,609t	4.16%	8.81%	5.45円	37.98円	51.08円	3.72円	98.24円
前年(比)	97.1%	99.8%	4.10%	8.75%	5.86円	37.11円	50.24円	3.78円	97.00円
根室支所	3,770t	32,667t	4.20%	8.83%	5.45円	38.37円	51.18円	3.79円	98.78円
前年(比)	99.2%	99.4%	4.16%	8.77%	5.86円	37.62円	50.33円	3.85円	97.66円

旧営農センター 冬期間閉鎖のお知らせ

3月31日までの冬期間中は、
水道凍結防止などの観点から閉鎖
させていただきます。

組合員の皆様には、ご迷惑をお
掛け致しますがご了承ください。

退職職員

平成28年12月22日
生産部 家畜改良課
内田 幸希

平成28年12月31日
購買部 生活店舗課
Aコープ上春別店
準職員 須郷あけみ

異動職員

平成29年1月1日
管理部 管理電算課 課長
→営農部付
営農サポートセンター
対策事務局 事務局長
川目 靖

管理部 人事課 課長
→同部 管理電算課
課長兼務
石田 隆

ホクレン市場カレンダー

月	日	種 類	西 春 別	上 春 別	別 海	根 室
1	11日		4番	6番	7番	8番
	18日		6番	7番	8番	9番
	19日	乳牛	2番	3番	5番	4番
	25日		7番	8番	9番	1番
2	1日		8番	9番	1番	3番
	2日	乳牛	3番	4番	6番	5番
	8日		9番	2番	3番	4番
	15日		1番	2番	3番	4番
	16日	乳牛	4番	5番	7番	6番
22日		2番	3番	4番	5番	

採用職員

平成29年1月6日
営農部 営農振興課
営農支援対策係
準職員 下元明日香

編集局から

明けましておめでとうござ
 います。本年もJA道東あさ
 ひ広報誌「まきばの風」が
 「ぼか」をよろしくお願
 い致します。

今月号では酪農協会の活
 動を振り返り、特集として視
 察研修と講演会の模様を掲載
 致しました。私たちの住む地
 域でも過去に釧路沖地震など
 の大地震を経験し、このよう
 な震災はいつ身に降りかかる
 か分かりません。視察研修に
 参加された組合員さんのレポ
 ートからは、同じ農業に携わ
 る者として被災地を思う声
 が多くあり、それに応えるよう
 に講演していただいた田中一
 正社長からは、フェリスラテ
 に対する熱い思いを聴くこと
 ができ、参加された方も勇気
 や力をもらったのではない
 かと感じました。

平成29年1月10日発行
 発行/JA道東あさひ
 編集/営農部 営農振興課
 住所/北海道野付郡別海町
 別海緑町116番地9
 電話/ (0153) 75-2201 (代表)